

1. 観光を取り巻く現状
- 2. MICEの現状**
3. 政府におけるMICEの位置付けと具体的施策
4. MICEの今後

MICE (マイス) とは

MICEとは、ミーティング、インセンティブ、コンベンション、エキシビション/イベントを総称した用語。
MICEには開催地における高い経済波及効果やビジネス機会、イノベーションの創出等が期待される。

※ インセンティブやコンベンションを含めて広義のミーティングとも一般的に呼称される。

欧米諸国などではMICE全般を指してビジネスミーティング・ビジネスイベントと称する場合も多い。

M 主に企業がグループ企業やパートナー企業などを集めて行う企業会議、大会、研修会等の会合（＝コーポレートミーティング）を指す。

Meeting 例：海外投資家向け金融セミナー、グループ企業の役員会議 等

I 企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する旅行のことで、企業報奨・研修旅行と呼ばれる。

Incentive 例：営業成績の優秀者を集めた旅行 等

C いわゆる国際会議であり、学会や産業団体、さらには政府等が開催する大規模な会議を一般的に指す。

Convention 例：北海道・洞爺湖サミット、国連防災世界会議、世界水フォーラム、世界牛病学会 等

E 国際見本市、展示会、博覧会といったエキシビションや、スポーツ・文化イベントなど大小さまざまなものが含まれる広範な概念である。

Exhibition /Event 例：東京国際映画祭、世界陸上競技選手権大会、国際宝飾展、東京モーターショー 等

戦略的活用の具体例①

国際会議

第12回アジア栄養学会議

平成28年度JNTO国際会議誘致・開催貢献賞
【国際会議開催の部】受賞取組

- 【日 程】2015年5月14日～18日
- 【会 場】横浜（パシフィコ横浜）
- 【主 催】（公社）日本栄養・食糧学会
- 【参加者】50カ国、3,769名（うち外国人1,149名）
- 【会議テーマ】
アジア地域の社会の発展、人々の生活の質の向上、
栄養と食品に関する諸問題の解決、健康福祉への貢献

【効 果】

機能性食品及び医療機器等の
展示会を併催し、
商談の機会を創出。



コンgresディナー



市民公開講座



教育ツアー

戦略的活用の具体例②

展示会

第28回日本ものづくりワールド

- 【日 程】 2017年6月21日～6月23日
- 【会 場】 東京ビッグサイト
- 【主 催】 リード エグジビジョン ジャパン(株)
- 【出展社】 17ヶ国、2,454社
- 【来場者】 47ヶ国、88,554名



【効 果】

多くの海外バイヤーを誘致することで
海外への販路を拡大（特に、零細企業への
効果大）。



戦略的活用の具体例③

たくみこころのたび

インセンティブ

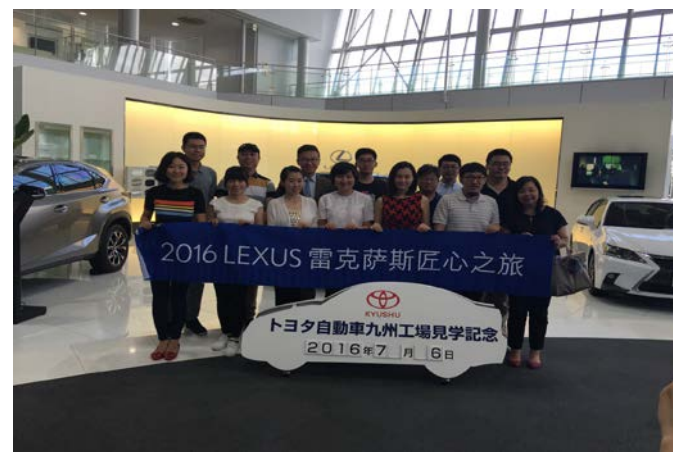
LEXUS 中国 匠心之旅シリーズ

【日 程】全4回、各回5~8日間 計72名
【訪問地】福岡、山口、岡山、広島、仙台、東京、他
【参加者】自動車販売代理店（営業担当他）
【目 的】

- ディーラーの販売意欲向上。
- Lexusの製造現場見学に加え、
日本の工芸品の職人技を体験することにより、
日本の匠の精神の理解を深め、
中国国内での更なる販売強化につなげる。

【効 果】

中国市場で10万台の販売実績を達成する等、
中国市場における販売促進に貢献。



MICEがもたらす効果①

(1)高い経済効果

- MICE開催を通じた主催者・出展者・参加者等の消費支出は、開催地域を中心に大きな**経済波及効果**となる。
- レジャー目的（一般観光）よりも高い経済効果を生み出す。

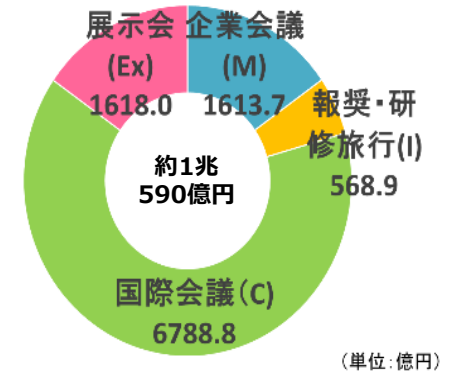
経済波及効果（平成30年4月18日公表）

- 平成28年の国際MICEによる経済波及効果
約1兆590億円
- 新たに生じた雇用創出効果
約96,000人分
- 税収効果
約820億円
- 外国人参加者1人当たりの平均消費額
約33.7万円
(航空賃込み)

【参考】

一般観光による訪日外国人1人当たりの平均消費額
約15.6万円

国際MICE全体による経済波及効果(催事別)



MICEがもたらす効果②

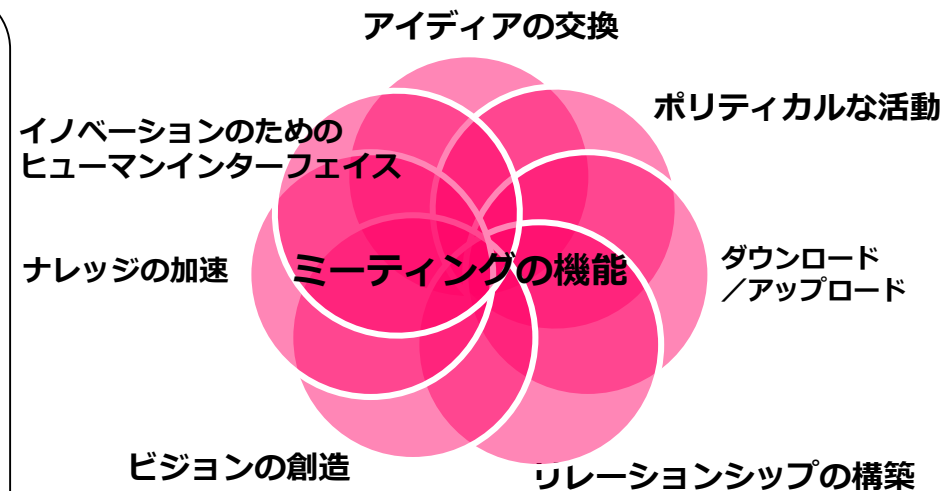
(2) ビジネス機会等の創出

- 国際会議・展示会の機会を活用した**ネットワーク販路拡大**
- グローバル企業との**共同研究**や世界の**先進的研究者との交流創出**
- インセンティブにおける現場体験を通じて、日本の技術力や商品・サービスに対する認知・理解を深め、**日本製品の購入**や地域の**産業振興**を推進

(3) 都市ブランド・競争力向上

- 世界都市ランキング（国際会議件数など）
- MICEを通じたネットワーク構築により都市の競争力向上。

MICEの機能

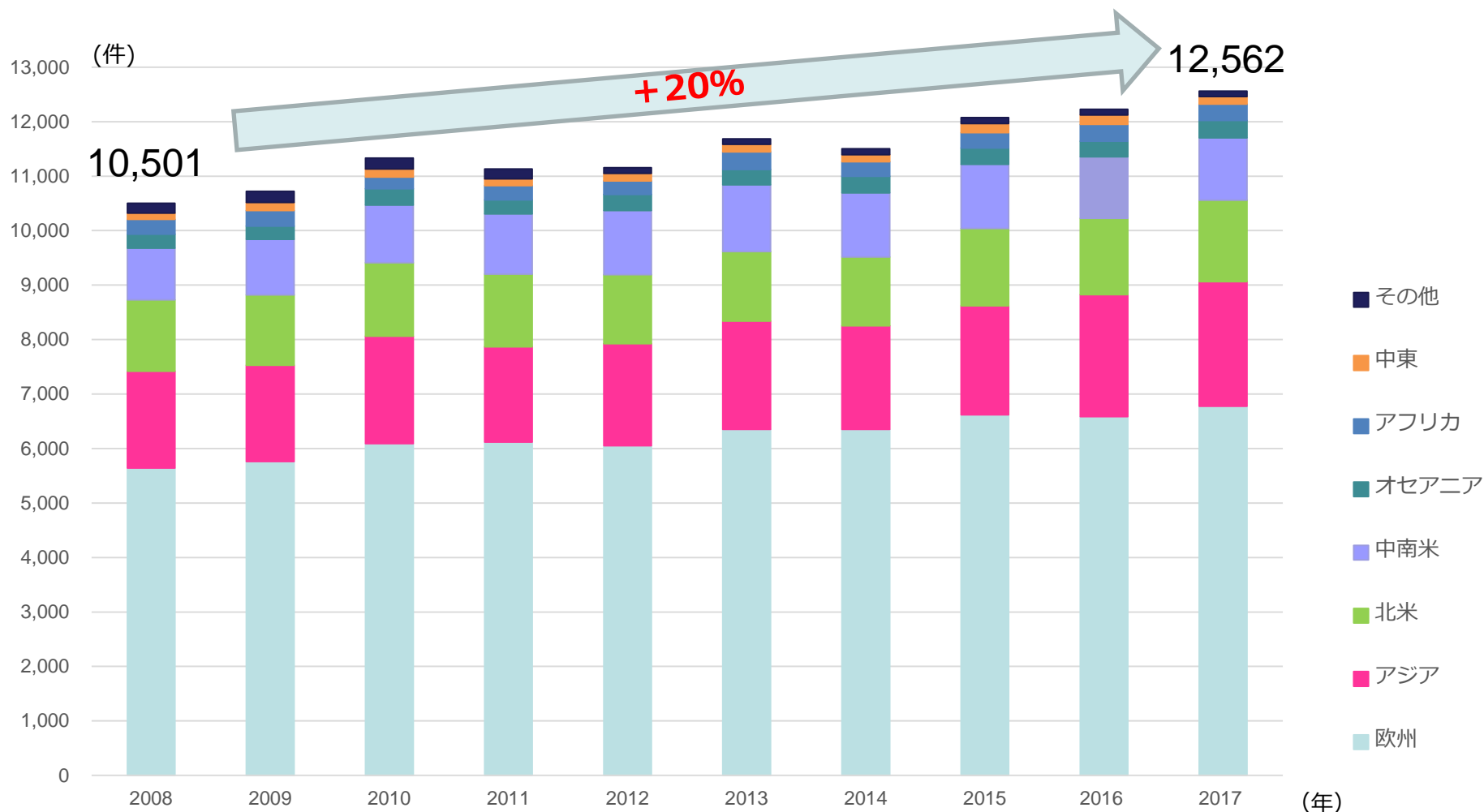


(4) 交流人口の平準化

- 観光（休日型）
- MICE（平日型）

世界の国際会議開催件数の推移（2008～2017）

- 直近10年で、世界の国際会議は+20%の増加に対し、日本の国際会議は+23%増加。
- 国際会議が最も開催されている地域は欧州で、最も開催の伸びが大きい地域はアジアとなっている



出典：ICCA（A Modern History of International Association Meetings 1963-2012）、ICCA Statistics Report(2013,2014,2015,2016,2017)
 注：ICCAは開催件数が4件以下の国は地域分類をしておらず、「その他」に一括計上されている。

国際会議開催件数上位10カ国（2017年）の順位推移

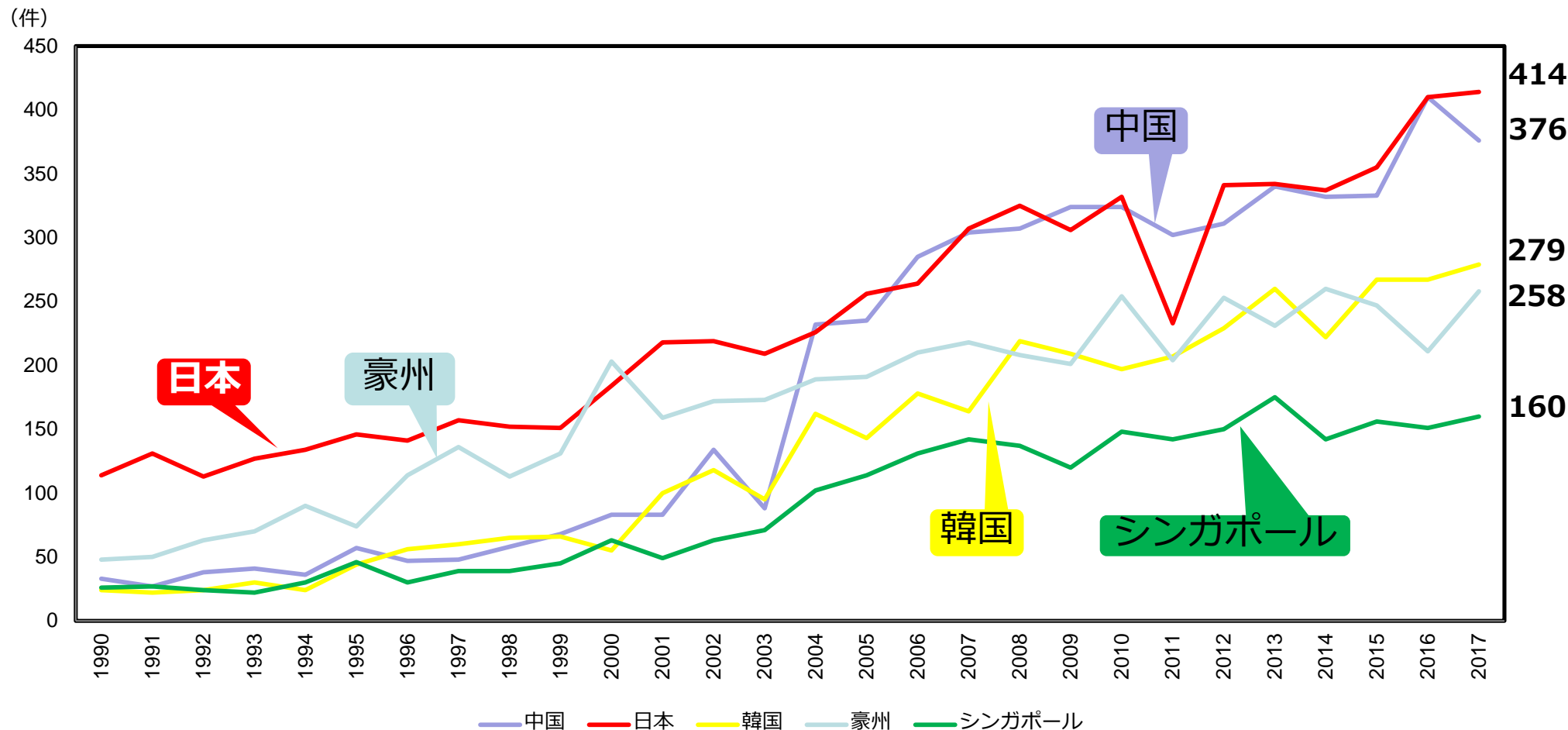
- 国際会議の開催件数が最も多い国はアメリカで、上位は欧州が占めている。
- 日本は、2013年から7位を維持し、2017年はアジア・大洋州地域において1位を維持。

	2010		2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017	
アメリカ	1	(878)	1	(877)	1	(833)	1	(829)	1	(831)	1	(925)	1	(934)	1	(941)
ドイツ	2	(657)	2	(626)	2	(649)	2	(722)	2	(659)	2	(667)	2	(689)	2	(682)
イギリス	4	(519)	4	(487)	4	(477)	5	(525)	4	(543)	3	(582)	3	(582)	3	(592)
スペイン	3	(561)	3	(496)	3	(550)	3	(562)	3	(578)	4	(572)	5	(533)	4	(564)
イタリア	5	(461)	6	(428)	6	(390)	6	(447)	6	(452)	6	(504)	6	(468)	5	(515)
フランス	6	(457)	5	(476)	5	(469)	4	(527)	5	(533)	5	(522)	4	(545)	6	(506)
日本	8	(349)	14	(244)	8	(341)	7	(342)	7	(337)	7	(355)	7	(410)	7	(414)
中国	7	(368)	7	(343)	10	(311)	8	(340)	8	(332)	8	(333)	7	(410)	8	(376)
カナダ	10	(283)	11	(268)	12	(273)	11	(290)	12	(265)	10	(308)	10	(287)	9	(360)
オランダ	12	(262)	8	(322)	9	(315)	10	(302)	9	(307)	8	(333)	9	(368)	10	(307)

※括弧内は開催件数

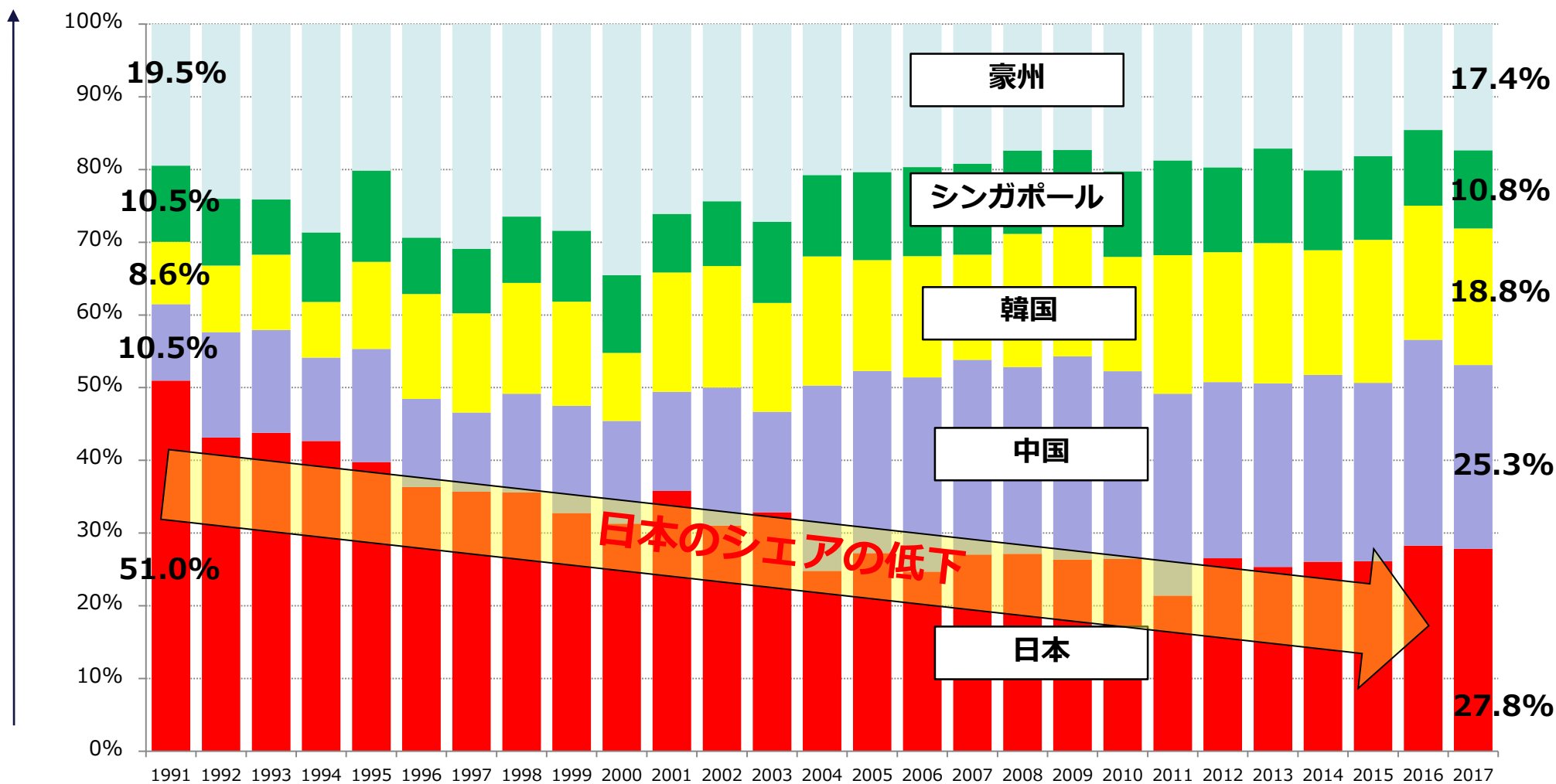
アジア・大洋州主要国の国際会議開催件数(1990~2017)

- アジア太平洋地域の主要5ヶ国（日本、中国、韓国、シンガポール、豪州）は年々、開催件数を伸ばしている。
- 日本の開催件数は131件（1991年）から414件（2017年）まで増加し、2017年はアジア・大洋州で国際会議開催件数が単独1位となった。



アジア・大洋州主要国における日本の国際会議シェア推移

□ アジア・大洋州主要5ヶ国の開催件数に占める我が国のシェアは、1991年の51%から低下を続け、2017年は27.8%に落ち込んだが、シェア率は1位を維持している。



出典：ICCA（国際会議協会）統計より観光庁作成

アジア・大洋州都市別国際会議開催件数ランキングの推移

□ 都市別では、国内で開催件数1位の東京がアジア・大洋州では5位（昨年6位）、2位の京都が同13位（昨年11位）に留まる。

アジア・大洋州における国際会議開催件数ランキングの推移 ※（）は開催件数

	2013	2014	2015	2016	2017
シンガポール	1 (175)	1 (142)	1 (156)	1 (151)	1 (160)
ソウル	2 (125)	3 (99)	2 (117)	2 (137)	2 (142)
香港	6 (89)	4 (98)	3 (112)	5 (99)	3 (119)
バンコク	4 (93)	9 (73)	4 (103)	3 (121)	4 (110)
東京	7 (79)	6 (90)	8 (80)	6 (95)	5 (101)
北京	3 (105)	2 (104)	5 (95)	4 (113)	6 (81)
台北	8 (78)	5 (92)	6 (90)	7 (83)	7 (76)
シドニー	4 (93)	7 (82)	7 (86)	10 (61)	7 (76)
メルボルン	12 (52)	11 (61)	12 (54)	11 (58)	9 (67)
クアラルンプール	10 (68)	8 (79)	9 (73)	9 (68)	10 (65)
上海	9 (72)	9 (73)	11 (55)	8 (79)	11 (61)
ニューデリー	65 (35)	69 (35)	64 (41)	69 (39)	12 (59)
京都	14 (43)	13 (47)	13 (45)	11 (58)	13 (46)
マニラ	18 (28)	23 (22)	14 (41)	13 (46)	14 (42)
バリ	11 (55)	15 (38)	16 (40)	14 (43)	15 (40)

※名古屋は21位、札幌は22位、福岡・大阪は32位

2017年国際会議開催件数
世界数上位10都市

順位	都市名
1	バルセロナ
2	パリ
3	ウィーン
4	ベルリン
5	ロンドン
6	シンガポール
7	マドリッド
8	プラハ
9	リスボン
10	ソウル
11	ブエノスアイレス
12	ブダペスト
13	香港
14	ダブリン
15	コペンハーゲン

※東京は18位、京都は50位